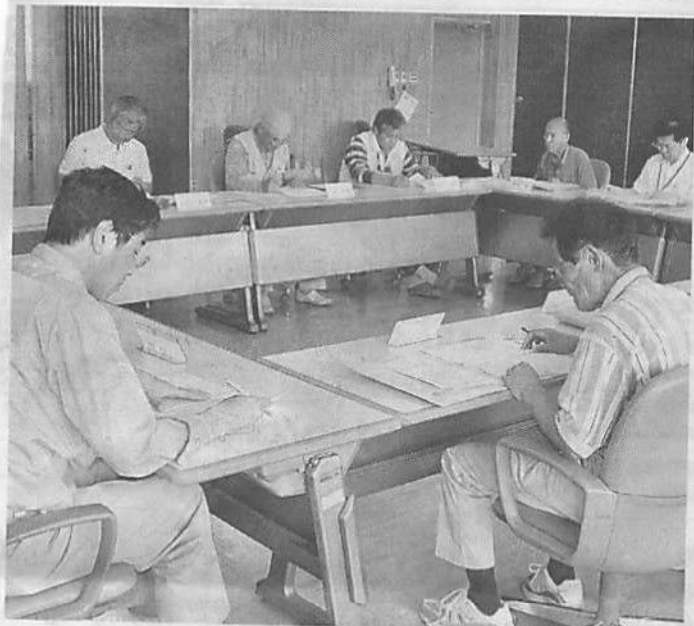


全河川BOD異常なし

市環境モニタリング会議

日 向

河川の環境保全や愛護意識 日向市河川環境監視モニタリング委員会が、22日、同市役所であ



った。2年の任期で昨年度にモニタリングに委嘱された市民と、同市、県日向土木事務所の関係者計15人が出席、モニタリングが実施した昨年度の河川水質検査の結果が報告された。

監視対象地点は市内を流れる耳川や庄手川、塩見川などの13カ所。モニタリング(13人)は昨年度に委嘱され、それぞれ担当する河川の水質や生物の生息、野鳥の飛来状況などを市に毎月報告してきた。

会議では市側が検査結果を説明。全ての河川で水素イオン濃度(pH)は基準値(6.5~8.5)の範囲内に収まり、水質環境の目安となる生物化学的酸素要求量(BOD)と浮遊物質濃度(SS)に異常はなかった。

日向市内の河川の状況を確認した河川環境監視モニタリング会議

一方で亀崎川、塩見川、耳川、石並川では大腸菌群数が時期や場所によって基準を超えていたことを紹介。「し尿や生活排水などの影響が推測される。下水道の整備や合併処理浄化槽の普及促進などの対策、市民の環境意識の高揚を継続して図る必要がある」と指摘した。

モニタリングは本年度、引き続き監視、調査を行う。